

P R E S S R E L E A S E



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和6年9月30日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

地域課題解決を通して事業創出を目指す
山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業
事業創出第15弾

yori-i project が横展開を開始
遊佐町における「ソーシャルビジネス支援体制」発足！

令和4年度から実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)では、新規事業創出の第15弾として、遊佐町においてプロジェクトの横展開を開始します。遊佐町が実施している「若者を中心としたビジネス創出事業」を進めるための主体として設立された「一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからず」と連携し、ボードメンバーとのマッチングや新規創業者の開拓を行うことで、地域の様々な課題を持続可能なビジネスで解決していくための事業化支援・起業支援を実施して行きます。

つきましては、下記により遊佐町役場において記者発表を行いますので、取材・報道についてよろしくお願いいたします。

記

日 時：令和6年10月2日（水） 10時～11時

場 所：遊佐町役場 第一会議室（遊佐町遊佐字舞鶴 202 番地）

- 出席者：
- 遊佐町長 松永 裕美 氏
 - 一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからず 代表理事 藤川かん奈 氏
 - 一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからず 副理事 伊藤大貴 氏
 - 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 教授 小野寺忠司
 - 公益財団法人やまがた産業支援機構 常務理事 我妻 悟

■ 概要

この度創出する「ソーシャルビジネス支援体制」は、yori-i project と遊佐町とが連携することで、遊佐町内で若者のチャレンジを加速し、若者を中心としたビジネス創出を通じて地域を支える人材を生み出すことを目的としています。

その主体となるのは、起業支援や社会教育のために設立された「一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからず」です。これまでも高校魅力化等で実績のある方々が法人運営を担い、遊佐町や yori-i project と連携して、地域課題解決型ビジネスの創出支援体制を構築していきます。

社団法人の副理事である伊藤さんが遊佐町における yori-i project の連携窓口の「プロジェクトコーディネーター」に就任することで、yori-i project が培ってきた地域課題解決型ビジネスを生み出すための手法や、そのために有効なリソースを遊佐町の取り組みとして実装させていきます。

令和6年度後半に、「遊佐町版 yori-i project 分科会」を開催し、ボードメンバーとのマッチングや新規創業者の開拓を進めていく予定です。



代表理事 藤川かん奈 氏



副理事 伊藤大貴 氏

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化していくプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、150 以上（個人含む）になっています。

<参考 URL> <https://yori-i.org/>

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊（023-630-2364）
報道監：産業労働部次長 奥山